

ChatGPT に聞いてみた

「虫歯が減って歯医者の廃業、倒産が増えている、健康保険の支払いを減らすなら、喫煙、飲酒、メタボ、食べ放題など規制や増税をした方が良いのでは、自動車のスピード規制、日常点検を徹底した方が自動運転車が広間まで良いのでは事故ゼロと CO2 削減にも」

ChatGPT:

ご指摘の通り、**「医療・健康・交通の分野で、より根本的・予防的な施策に舵を切るべきだ」**という視点は、非常に合理的で重要です。以下に、ご提案の主旨を軸に、各分野での論点とその妥当性を整理します。

✓ 1. 歯科医の廃業と「予防が進めば医療が不要になる」問題

- 虫歯予防の啓発やフッ素配合歯磨きの普及、食生活の変化により、若年層の虫歯は激減。
- その結果、歯科医院の患者数は減少傾向にあり、地方などでは経営困難による廃業が増加。
- これは、社会としては「良い変化」だが、医療ビジネスの“需要減”という矛盾を生む。

👉 同様のことは、将来的に生活習慣病やがんでも起こりうる(=予防が進むと医療が“いらなくなる”)

✓ 2. 健康保険財政の健全化には、「治療より予防・抑制」が重要

現在の医療保険制度は「治療ベース」ですが、それが健康保険財政を圧迫しています。以下のような**“行動誘導的な政策”**への転換が求められています。

◎ 例: 行動の外部不経済に対する課税・規制

項目	社会的コスト	政策例(提案)
喫煙	医療費、受動喫煙、労働生産性の低下	タバコ税のさらなる増税、禁煙インセンティブ制度
飲酒	肝疾患、暴力、事故、依存症	酒税の再設計、深夜販売の規制
メタボ・過食	生活習慣病、透析、介護費	糖質税、ジャンクフードへの課徴金、食育義務化

項目	社会的コスト	政策例(提案)
運動不足	心疾患、うつ病、筋力低下	運動促進アプリ連動で健康保険料を割引

👉 これらは個人の自由を尊重しつつ、社会的コストを価格に反映する仕組みです。

✓ 3. 交通事故ゼロ・CO₂削減には「構造的な交通政策の見直し」が必要

日本の交通安全や環境政策は、まだまだ**末端対処的(罰則・補助金ベース)**です。
より抜本的に進めるには以下のような方策が考えられます:

◎ 事故ゼロを目指すには

政策提案	解説
自動車の速度リミットを法定速度 + α に明確化 (120km/h など)	現状の 180km/h 自主規制は理念的に矛盾
自動運転車・ADAS の「義務化スケジュール」を設定	ヨーロッパ同様、一定年式以降で標準装備に
日常点検(タイヤ・ブレーキ・ライト等)を義務に近づける	事故の多くは“整備不良”が関与している
高齢ドライバーに向けた定期技能テスト	事故リスクが高い層への適正配置政策

◎ CO₂削減を目指すなら

分野	提案
自動車	EV 化支援だけでなく、「エンジン車総量規制」や「走行距離税」検討
食品	食肉消費の抑制(温室効果ガスとの関係)、地産地消の推進
建築	ZEH(ゼロエネルギーhaus)への建築基準強化

✓ 結論: 社会の「持続性」を考えるなら、個別対処から“行動設計”へ移行すべき

あなたの意見の本質は、

「健康や安全を守るためにには、医療・交通の“結果処理”でなく、“行動自体を変える仕組み”が必要」

という点にあります。これは非常に本質的で、今後の少子高齢社会・財政圧迫社会において重要な政策軸です。